

普及活動情勢報告（令和元年 5 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

キュウリ農家のカイゼン始まりました！



運搬作業の動画を見ながらの活発な意見交換。

5月16日、高知市春野のキュウリ農家圃場でカイゼンマスターによる現場コンサルが実施されました。3名の農家と関係機関が参加し、まずはカイゼンしたい場所を見て貰いました。普及所は事前にカイゼン取り組み農家と課題の整理を行い、カイゼン箇所の動画撮影、作業時間の計測を行いました。当日は、現場確認後に動画で実際の作業風景も見ながら意見交換することで、多くのカイゼン案が出されました。作業負担が大きい収穫コンテナの運搬に関するカイゼンから優先的に実施し、重筋作業の軽減を目指します。

普及所は、農家の生産効率アップにつながる「カイゼン」の実施を進めるため、関係機関と連携して支援を続けていきます。

キュウリ経営勉強会を開催



「こんな事も調べて」と多くのリクエストが出されました。

5月14日、JA高知県春野営農経済センターにおいて、「キュウリ経営勉強会」を開催しました。参加者は16名。H30年の決算結果とH31園芸年度の出荷状況を併せて分析し、現在のキュウリ経営がどうなっているか、また新技術の導入はどう影響しているか、などを普及所から解説しました。参加者は興味津々で、1スライドごとに意見や質問が出され、次に繋がる活発な会となりました。

8月にも青壮年部の企画で、経営に関する研修会が開催されます。より多くの農家に経営管理に目を向けて貰えるよう、役員と相談しながら進めていきたいと思っています。

ミョウガの現地検討会が開催されました



JA高知市土佐山支所にて

4月24日、JA高知市土佐山ハウス茗荷生産組合が現地検討会を開催し、組合員13名が参加しました。

生産者9名のハウスを視察し、モグラによる被害がみられたハウスもありましたが、今のところ生育は順調でした。

視察後、普及所からこれからの時期の栽培管理や病虫害対策などについて情報提供しました。参加者からは「遮光資材を共同購入したい」、「新系統は出蕾が早いようだ」など活発な意見交換が行われました。

今後も普及所は、生産組合やJAなどと連携し課題解決に向け支援をしていきます。

小梅の現地検討会ー鏡果樹部会ー



梅の作況調査

5月7日、高知市鏡地区で鏡支所果樹部会による小梅現地検討会が開かれ、部会員や市場関係者等9名が参加しました。

普及所は、他県の産地情報として小梅着果量が前年より少ない産地が多いことを報告し、全員で組合員の梅園を回りました。各園の小梅の着果状況を観察したところ、やはり鏡地区も前年より着果の少ない園がありました。また、皆で採取した梅の熟度を調べ収穫が5月12日から開始できることを決めました。

普及所は今後とも同部会の研修会や個別指導を通じ、部会の発展を支援していきます。

直販店における山菜料理・加工教室の開催支援



料理教室の様子

季節の食材の食べ方を教えることで、直販所の売上げをアップさせることを目的に、4月24日に「鏡むらの店」万々店の2階調理室で、山菜の料理・加工方法について料理教室の開催を支援しました。

普及OBの普及協力員を講師に、たけのこ、いたどり、ふき、わらびを材料に実習を行いました。参加者からは「山菜の保存方法が勉強になった」、「知らないことが学べてたのしかった」などと好評で、次は梅の加工方法を勉強したいなどの要望も聞かれました。

普及所では今後も、直販所の販売額アップにつながるさまざまな取り組みを支援していきます。